

# 令和4年度の教育活動等に対する学校評価書

学校法人 清水国際学園 清水国際高等学校 校長 前田 利久

学校番号	12	清水国際学園 清水国際高等学校
------	----	-----------------

	評価項目	具体的な取り組み	自己評価				反省と次年度の取り組み				評価委員評価				評価委員の意見
			A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	
1	基本的な生活習慣と学習習慣の確立をめざす。	欠席・遅刻・早退の減少と授業態度の向上を目指す。	5	23	8	0	5分前行動と登校完了の徹底。欠席等が多い生徒には保護者と密に連絡を取る。	1	5	0	0	引き続き5分前入室の指導を続け、次は欠席の減少へ。			
2	保護者・地域社会に開かれた教育活動の実践。	保護者・地域住民その他の関係者との理解を求める。	4	15	13	3	登校指導時での近隣住民・他校生・社会員への挨拶。保護者へのClassiでの配信。	0	4	2	0	保護者ももっと学校行事に参加できたい。PTAも協力したい。			
3	効果的な学校運営。	各分掌間の連携と職員の共通理解による教育を図る。	4	13	14	5	組織、役割の明確化とともに、分掌間の連携と情報の共有。職員同士の情報交換の場を増やす。	0	4	2	0	クラスによって連絡内容や方法に相違がないように。			
領域	評価項目	今年度の達成目標	自己評価				反省と次年度の取り組み				評価委員評価				改善策・要望等
			A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	
教科指導	授業改善の推進	解りやすい授業、興味を・関心をもてる授業の展開を図る。	9	19	6	0	ロイロノートが有効だった。プロジェクターを使用し、生徒のプレゼンテーション活動を多く取り入れる。	1	5	0	0	魅力ある授業の展開をお願いします。			
	個に応じたきめ細かな指導	習熟度別指導や課題学習の実施。	5	17	10	2	机間巡視や提出物の丁寧なチェックにより、個々に必要な指導やアドバイスを行う。習熟度に応じた課題。	2	4	0	0	学力不足の生徒の指導をお願いします。			
	補習授業の実施	進路に向けた学力向上と分からないことを放置しない体制。	7	16	9	1	マナレ・小テストの効果的活用。質問を受け付けるような個々に応じた補習授業の実施。	1	5	0	0	充実した補習内容をお願いします。			
	授業形態や機材の工夫・改善	視聴覚・教育機器などの教材・教具の活用を図る。	9	21	3	0	多様なICT機器による視覚や聴覚に訴える授業の実施。プロジェクターのさらなる活用。	2	4	0	0	プロジェクターの効果的な利用を工夫して行ってほしい。			
	自主的な学習	予習・復習を自発的に行う生徒の育成を図る。	4	14	15	0	ロイロノートを活用した課題提出。「国際個別サポート」と「国際試験サポート」の継続。適切な指示を出す。	0	5	1	0	自主性のある生徒とない生徒との格差をなくした。			
特別活動	教育目標を踏まえ、創意工夫を凝らしたホームルーム活動、学校行事の推進	学校ならではの多様な活動、行動を通じて様々な経験をし、自己発見をするとともに他人への思いやりを深める。	7	20	9	0	学校行事を例年通り実施することが困難だったため、今できることは何かを考えさせ、積極的に参加するように促す。	2	4	0	0	保護者や地域が関わられるような私学ならではの特色ある行事を。台風15号の被災地域へのボランティア活動は良かった。			
	個別面談の充実	個人面談を通して生徒理解を深める。	6	19	9	1	学校が設定した教育相談週間と、指導者が必要に応じた場合や生徒が必要としている場合など柔軟な面談を行う。	1	5	0	0	年2回ある個別面談をより充実したものにしてほしい。			
生徒指導	マナーや社会的規範意識の育成	社会人としての価値基準を意識させ、時・場所・状況に応じた言動を常に求めていく。	6	23	5	1	SHRで話をし、挨拶や服装等、マナー指導に努める。	2	4	0	0	家庭が学校に仕上げをお願いするのはおかしいが、家庭と連絡を取り合って同じ価値観と目的をもって指導に当たりたい。			
	いじめの未然防止	いじめの概念が多様化しているなかで、人権教育・状況把握・情報の共有など、全体で取り組み、未然に防ぐ。	7	21	5	1	生徒の変化を見逃さないように、生徒たちの日頃の言動をよく観察し、面談やアンケートによる状況の把握と教員間の共有、HRや授業による人権教育に努める。またSNSなど表面化しにくいことにも留意する。	2	4	0	0	何か気になる変化が見られたら直ぐに学校と家庭とで連絡が取れる体制を。家庭での世間話も、話し方次第で人権に関わるので気を付けたい。			
	生徒の防犯意識及び安全対応能力の向上を図る。	交通安全指導を中心に、安全及び生命の尊さを意識させ、マナーや規範意識を高める。	7	21	5	1	マナーや規範について繰り返し確認を行う。	0	6	0	0	大人の運転マナーについて問題視されている昨今、通学だけでなくドライバーや歩行者の立場にも目を向けた指導を。			
	役員・委員・係として責任ある行動	仕事に対する責任感の育成と校舎の美化の務める。	2	26	5	1	各委員会での明確な目標設定と、委員会間の相互の連携。	2	3	0	0	一人ひとりの役割・存在感が他とものに感じられるように。			
部活動	指導方法の工夫・改善を図る	社会性・協調性・責任感・想像力・表現力・礼儀作法など、多岐にわたる指導。	5	24	5	0	部活動の存在意義を生徒自身が考え、個々の存在や役割を部員間で認め合い、相互の協力と努力により充実感や達成感を得る。	2	4	0	0	ボランティア部の活躍が目覚ましい。軽音楽部や吹奏楽部もボランティアとして地域の催し物に出演しているのを見るのは嬉しい。			
進路指導	進路希望達成のための指導の充実。	進路ノート等を活用したガイダンスの計画・立案・実施。	5	22	6	3	目的を持って進路ガイダンスに参加させ、Webのオープンキャンパスに加え、実際にキャンパスに行くよう促す。	0	5	1	0	オープンキャンパスや仮装ワークなど生徒に体験させながらの指導は良いと感じる。			
	就業に関わる体験的活動や計画的・体系的なキャリア教育の推進。	進路情報の提供及び模試・補習を効果的に利用し、学力養成を目指す。	6	17	10	0	生徒の興味・関心・学力等、生徒の現状を把握し、生徒に適した情報を提供する。また面談を重視し、生徒に寄り添って指導に当たる。	1	1	1	0	求人数は多いのだが、自分が希望する職種に就けるか心配。			
防災教育	大規模地震等に対する防災能力の向上を図る。	防災計画の見直しと、効果的な防災訓練の検討。	5	17	12	0	マンネリ化の傾向が否めない。形式的な訓練とならないよう、毎回異なった視点に立つ。避難経路での障害物はないか確認する。	1	5	0	0	当地で想定されるいくつかの災害について、しっかりと教える必要がある。			
	地域防災の担い手としての役割を果たせるよう地域と連携し防災の充実を図る。	県下一斉の防災訓練の大切さや内容の連絡。	0	21	11	3	防災訓練の趣旨を理解させ、義務や他人事として受け止めることのないよう指導する。災害時に高校生ができることは何かを考えさせる。地域防災への積極的な参加。	1	5	0	0	家庭でも訓練についてしっかりと話し合うことも必要。			
環境教育	清掃分担区域の責任ある行動。	校舎内外の清掃を徹底させるための責任感の養成。	6	21	8	0	生徒と共に清掃を行いながら、生徒の取り組みを観察。	1	1	0	0	近隣の清掃活動がありがたい。			
	ゴミ分別の円滑化を図る。	正しいゴミの分別ができるようにする。	7	20	7	1	学校全体でゴミを出さないよう努める。	1	5	0	0	生徒はよく見ているので、教師自ら模範となるように。			
	環境保全の重要性を認識させる。	環境保全の重要性を機会ある度に知らせる。	4	17	13	1	委員会を通じた校内・学級内での美化の実践。	3	3	0	0	教員だけでなく、委員会による生徒たちへの呼びかけと実践を。			
教育課程	新教育課程の編成。	本校の実態に即した特色ある教育課程の編成。	3	15	10	6	教科会議を多く設け、新学習指導要領に即した授業の実施。コースの特色を明確にし、きちんと出口につなげるようにする。ICT機器を用いた授業実践に向けての研究。「ICT機器の活用」をテーマに、教材研究をしている。	1	5	0	0	新教育課程が実施されて1年、効果的な教育課程で3年目には良い結果が出るように期待する。			

## 【評価の基準】

- A: 十分目標を達成することができた。
- B: おおむね目標を達成することができた。
- C: あまり目標を達成することができなかった。
- D: ほとんど目標を達成することができなかった